

技術力で叶えた夢は、

48畳分の大風量。

除菌・浄化・消臭…。院内を理想的な空気環境へと清浄化する「メディカルライトエア」。

「試行錯誤」。まさに、この言葉がぴったりなのが「メディカルライトエア」開発の日々です。

“医療機関に適した、これまでにない空気清浄機の開発”をテーマに展開されたプロジェクトでは、さまざまなアイデアを検討。

その中で、0.3ミクロンまでの微細粉塵を99.97%捕集する、HEPA規格スーパーバイオフィルタの採用や、

ウイルスを最大99.95%除菌し^(※1)、医療機関特有の臭いも分解・除去する光触媒ユニットの搭載など、

新たな発想がカタチになりました。

しかし開発部では、さらなるクオリティ追求の観点からより高い製品目標を設定。

一台で賄える浄化空間の拡大に挑戦したのです。

その範囲は、なんと48畳分^(※2)もの広さをカバーできること。

当然必要となるのは、吸排気に求められる大きな風量です。

ここで問題となるのが、風量が大きくなれば、騒音も比例して大きくなってしまいます。

その解決のため、開発部では、多種多様なファンおよびフィルタの種類・サイズを用意。

一つひとつ組み合わせては、バランスを検証するという試作を繰り返したのです。

手作業で、幾度も幾度も続けられた地道な作業。

大風量と静かな作動音、この相反するテーマに、技術者のプロとしての意識と誇りが向けられました。

そしてそれは、失敗しては新たな工夫を試みるという文字通りの“試行錯誤”のもと、やがて結実の日を迎えました。

技術者たちのモノ創りへの想いが、カタチとなった「メディカルライトエア」。

目に見えないからこそ、大切にしたい院内の空気環境を、確かな処理能力で、今日も静かに見守っています。

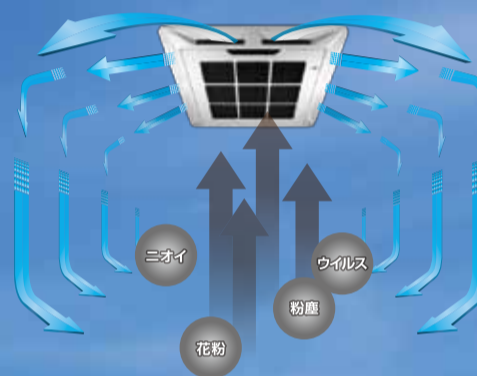
東京技研は、より安全で安心であることはもちろん、より快適な歯科医院の医療環境の創造をご提案しています。

これまでご愛顧いただいている製品の確かな技術と信頼のもとに、次世代に求められるさらなる品質を追求。

活躍のフィールド拡大を図り、新たな製品の開発を実現し、

これからのスタンダードとなるような歯科医療機器をお届けしてまいります。

メディカルライトエア概念図



(※1) 除菌率(%)の計算(一度の通過による除去率) 細菌:(IN 側回収率-Out 側回収率)÷IN 側回収率×100、ウイルス:(IN 側回収ウイルス数-Out 側回収ウイルス数)÷IN 側回収ウイルス数×100、試験機関:社団法人 北里研究所 北里研究所メディカルセンター病院 医療環境科学センター、試験番号:00416(試験実施機関 2004.11.29 ~2005.3.8)、試験結果:細菌・ウイルスについて除去能力あり。試験空間の大きさ:1m³の実験ボックス(密閉空間) ※実使用空間での実証効果ではありません。(※2) 病院設備設計ガイドライン(空調設備編)に準拠 病院設備設計ガイドライン(空調設備編)によると、診療室・待合室での求められる浄化度は1中性能フィルタ以上のフィルタを用いて、換気回数が4回/hour以上と設定。メディカルライトエアを設置する高さを2.5mと仮定すると、処理風量13m³/minから逆算して、(13×60)÷4×2.5=78m²となり、処理能力は48畳となります。※環境等によって異なり、保証値ではありません。